

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会医療法人愛育会 福田病院

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則、患者様の権利を規程し取り組んでいる。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。 ・臨床倫理委員会をはじめ、倫理的問題事項を検討するシステムがある。 ・熊本県男女参画推進事業者の表彰を受けている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3				16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・メンタルヘルスを確保するために、アンケートやストレスチェック調査、安全衛生委員会の活動により全職員への教育や啓発活動を実施している。 ・高ストレス者および希望者向けに外部産業医または産業保健師による面談を実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・職員の公正な待遇を行っている。 ・【予定】2023年1月までに、就業規則に全職員に公正な処遇を強化する。					5.5				8.5	10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・ワークライフバランスの達成を目指し、残業時間の管理や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革に取組み、有給休暇などの取得奨励を実施している。			3		5.5				8.5 8.8	10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修の必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。 ・所属長による目標評価面接により人材育成を行っている。				4	5.5				8	9							
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・産業医および産業保健師による特定保健指導を含め、健康増進への取組みを行っている。 ・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助、新型コロナウイルス感染症の抗原検査などを行っている。			3						8						17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・障がい者、高齢者を雇用している。				4.4	5.1 5.5				8.5	10.2 10.3					16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・新型コロナウイルス感染症対策会議を定期的に行い、感染対策を実施している。 ・WEBでの会議や研修を導入している。			3						8	9.1		11	12				
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・再来受付機・自動精算機導入によりICTを活用した業務改革に取り組んでいる。 ・【予定】2023年1月までにタブレット問診システムを運用する。 ・熊本メディカルネットワークの利用、オンライン診療などで効率化および災害・新型コロナウイルス感染症対策を実施している。									8	9.1		11	12				
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●	・【予定】2022年7月に認定申請に取り組む。			3	4					8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会医療法人愛育会 福田病院

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・感染性廃棄物や指定薬品を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・【予定】2023年1月までに、簡易計算シートなどを用いてエネルギー使用量の算出を行う。電気使用量について、LED化の促進やデマンドコントロールシステムの活用により、前年度比5パーセント削減の節電に取り組む。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・みずてまり(街なか親水施設・ドライミスト)を設置し、夏期期間は打ち水を実施している。 ・壁面緑化に取り組んでいる。 ・【予定】2023年1月までに、簡易計算シートなどを用いてCO2排出量の算出を行う。			2.4				7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・敷地緑化により、生物の生息・生育地の保全に取り組んでいる。 ・全職員において廃プラやレジ袋などの使用削減に努めている。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ごみの分別、リサイクル(紙、ビン・カン、ペットボトル)、リユース(トナー、カートリッジ)に取り組んでいる。 ・再生紙を利用したペーパータオルを使用している。 ・議事録の電子化、裏紙の利用によるペーパーレス化に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・職員および院内利用者を対象に、節水についてポスターや院内新聞で周知している。 ・敷地内の井戸水を一部施設の冠水用としている。 ・汚水等の適切な処理を実施している。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・廃油で石鹸を作り院内洗濯への利用やバザーでの販売を行っている。 ・有機栽培の農産物の購入を推進している。 ・【予定】2023年1月までにグリーン購入の周知およびリサイクル製品認証商品の購入を検討する。										9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・栄養サービス部において廃棄された食事を記録し、メニューの改善に努めている。 ・患者に必要な栄養教育を実施し、食の興味・関心を高め、残菜減少を推進している。 ・【予定】2023年1月までに調理工程で出る野菜くずの再利用を検討する。		1	2				6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・建物の壁面緑化や敷地の植栽に取り組んでいる。 ・【予定】2023年1月までに屋上やテラスの緑化を検討する。												11.6 11.7		13.1 13.3	15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・【予定】2023年1月までにエアコンの温度設定の徹底をはじめとした節電に取り組む、照明のLED化を促進する。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・熊本県木材利用大型施設コンクール受賞施設である。 ・熊本県産材の利用を推進している。							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・当院利用者へ公共交通機関利用を促進している。 ・交通費の支給、二輪車の駐輪場の拡充により、公共交通機関、自転車等での通勤の促進に取り組んでいる。											9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

